

ミニレター
あぜみち通信

* * * * *

平成28年1月1日

第181号

編集・発行：愛知県農業会議

新年おめでとうございます

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年8月28日に参議院本会議において「農業委員会等に関する法律」の一部改正が可決・成立し、9月4日の公布されました。

今回の改正は、農政の根幹を担ってきた組織・制度を抜本的に見直す制度発足以来の大幅な制度改正となっております。

改正の内容は、農業委員会業務の重点化、意見の公表の明確化、農業委員の選出方法の変更、農地利用最適化推進委員の新設等となっております。

また、農業会議関係では現在の認可法人から、農業委員会ネットワーク機構の県知事指定を受けた一般社団法人へ移行することになりました。

さらに、昨年10月のTPP交渉の大筋合意を受け、生産現場では大きな衝撃が走りました。これを受け政府・与党は、11月下旬に国内対策、関連施策を決定しましたが、農業者が将来に展望が描けるよう農業生産力の増進、農業経営の合理化等を進めていかなければなりません。

このようなことから、農業委員会系統組織の果たすべき役割は益々重要となっており、農業会議としましても、担い手への農地の利用集積や耕作放棄地の発生防止・解消などの農地利用の最適化の推進を図り、地域農業・農村の発展に全力で取り組む所存でございますので、皆様の格別のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方にとりまして実り豊かな年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

愛知県農業会議 会長 川上 万一郎

あけましておめでとうございます

皆様にとりましても、本年が良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も、愛知県農業会議の事業へのご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

愛知県農業会議 職員一同

◎ 平成27年度第1回通常総会を開催しました

愛知県農業会議は、12月18日に「愛知県水産会館」において、大村愛知県知事、横井愛知県議会議長、田辺東海農政局長、吉田愛知県農業協同組合中央会会長始め多くの来賓のご臨席をいただき、平成24年第1回通常総会を開催しました。

総会では、欠員となっている副会長、監査委員の選任を行い、副会長に愛知県市長会会長の春日井市長伊藤太氏、監査委員に江南市農業委員会会長の古田みちよ氏が選任されました。

議事は、平成26年度事業報告、平成26年度歳入歳出決算、愛知県農業会議組織変更計画、愛知県知事への農業委員会ネットワーク機構の指定申請及び附帯決議が審議され承認されました。



【伊藤副会長】



【古田監査委員】

◎ 全国農業委員会会長代表者集会が開催されました

12月3日に東京都千代田区の「日比谷公会堂」において、全国農業会議所主催の平成27年度全国農業委員会会長代表者集会(写真右)が開催されました。

全国農業会議所の二田会長は、「農業委員会法が改正され、農地利用の最適化が法律に位置付けられた。担い手への農地利用集積、遊休農地の発生防止・解消、新規就農支援など一層の強化が求められている。農業・農村の発展に向け目に見える実績の確保が重要である。」と主催者挨拶がありました。

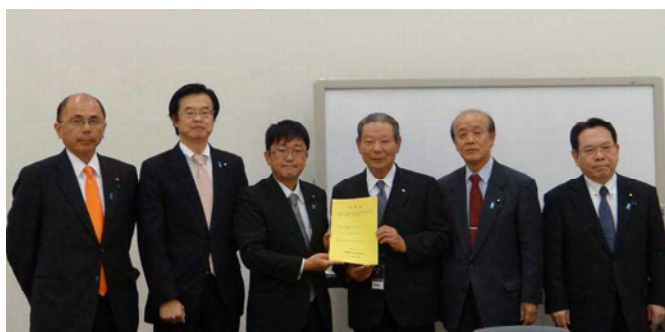


また、来賓として、森山農林水産大臣、衆議院の江藤農林水産委員長、参議院の山田俊男から挨拶がありました。

大会は二部構成で行われ、第一部では、「農地の利用集積等と農業委員会活動の強化に向けて」をテーマに、パネリストに新潟県村上市農業委員会の石山会長、長崎県松浦市農業委員会の山川会長、埼玉県秩父市農業委員の横田氏、助言者に高知大学文学部の緒方教授を迎えパネルディスカッションが行われ、討議後、申し合わせ決議が行われ、第1号議案「農地利用の最適化に向けた取組に関する申し合わせ決議」及び第2号議案「『情報提供活動』の一層の強化に関する申し合わせ決議」を採択しました。

第二部は、要請決議が行われ、第1号議案「農業・農村の再構築に向けた基本農政の

確立と施策推進に関する要請決議」及び第2号議案「T P P 交渉大筋合意を踏まえた要請決議」を採択し、岡山県農業会議の片山会長のもとガンバロー三唱を行い、大会を終了しました。



要請書を手渡す川上会長

要請決議については、自由民主党の衆議院及び参議院の愛知県選出の国会議員の皆様、大会に参加した川上農業会議会長、岩田尾張支部長始め各支部長で要請活動を参議院議員会館で実施しました。

◎ 農業者年金加入推進セミナーが開催されました

12月2日に東京都千代田区の「都市センターホテル」において、全国農業者年金連絡協議会と全国農業会議所共催の農業者年金加入推進セミナーが開催されました。

二田世話人代表から「農業者年金の加入者13万人を目指して、本年度、若手2,700人、全体で4,700人の加入目標に向け加入推進をお願いしたい。」と挨拶がありました。

来賓として、農林水産省山口大臣官房審議官、(独)農業者年金基金中園良行理事長から祝辞がありました。

その後、北海道中川郡幕別町の佐瀬一文氏(忠類農業協同組合営農部経営課長)、山形県鶴岡市の三浦真一氏(農業委員会会長)及び鹿児島県指宿市の濱田隆志氏(農業委員会加入推進部長)による、加入推進に関する事例報告と情報交換が行われました。

引き続き、「少子高齢化における食と農」と題して、エッセイストで青森大学副学長の見城美枝子氏による講演が行われました。

記念講演後、「農業者年金の加入推進と『のうねん倶楽部』の組織活動の強化に関する申し合わせ決議」を採択し、農業者年金加入推進セミナーを終了しました。

◎ 全国農業会議所臨時総会が開催されました

12月4日に東京都千代田区の「都市センターホテル」において、全国農業会議所第75回臨時総会が開催されました。

二田全国農業会議所会長の挨拶、山口農林水産大臣官房審議官から来賓挨拶がありました。

議事は「全国農業会議所組織変更計画の承認に関する件」が提案され、承認されました。

今後、公告、農林水産大臣への農業委員会ネットワークへの指定申請などを経て、平成28年4月1日より「一般社団法人全国農業会議所」に組織変更します。

◎ 常任会議員会議（１２月）の審議状況について

12月15日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る愛知県知事等からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

12月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案27件(平成26年12月48件)、12,550㎡(同33,694㎡)、同法5条に基づく転用事案201件(同230件)、156,311㎡(同207,247㎡)についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

また、12月18日に開催する平成27年度第1回総会の提出議案、「平成27年度事業報告」、「平成27年度歳入歳出決算」、「愛知県農業会議組織変更計画」、「愛知県知事への農業委員会ネットワーク機構の指定申請」及び「附帯決議」について説明を行いました。

◎ 愛知県米需給調整推進会議が開催されました

12月16日に、名古屋市中区の「愛知県三の丸庁舎」において、愛知県米需給調整推進会議が開催されました。

会議は、報告事項として、①平成27年産米の需給調整の概要及び取組状況について、②平成27年度経営所得安定対策の概要及び取組状況について、③平成28年産米の需給調整と経営所得安定対策見直しの概要について説明がありました。

協議事項として、「平成28年産米の市町村別生産数量目標及び自主的取組参考値の設定方針」を承認し、その後、市町村別生産数量目標及び自主的取組参考値を原案どおり承認されました。

また、東海農政局から平成28年産米における都道府県別の生産数量目標の設定方法等及び総合的なT P P 関連政策大綱について情報提供がありました。

◎ あいち農業賞表彰式が開催されました

12月14日に、名古屋中区の「J A あいちビル」において、公益財団法人愛知県農業振興基金による、平成27年度あいち農業賞（あいちアグリアワード）表彰式が開催されました。

表彰式は、可知理事長の主催者挨拶後、審査委員長より各部門の審査講評があり、担い手育成部門はボランティアでの露地ナス栽培の実践的な栽培技術指導と優良苗の供給を行っている坂本俊光氏（幸田町）、技術改善部門はモモ栽培における低樹高仕立ての普及や地域オリジナルの防除・作業暦を作成し、地域全体で活用し技術の向上を図った富田孝氏（豊橋市）、農業・農村振興部門は組合員が減少する中、新規参入者を受入れ、ベテラン組合委員の熱心な指導・助言等の支援により、45年の長きにわたり良質なたまねぎ種子を全国に安定供給している木曽川町玉葱採種組合（一宮市）が受賞されました。

表彰式終了後、受賞者による記念講演が行われました。

◎ 農林畜産物品評会表彰式が開催されました

12月18日に、名古屋熱田区の「熱田神宮会館」において、愛知県農業協同組合中央会及び熱田豊年講の共催により、農林畜産物品評会表彰式並びに熱田神宮農業功労者顕彰式が開催されました。

表彰式開催前に、関係者出席のもと、熱田神宮神楽殿において「平成27年度農業感謝祭」が厳かに執り行われました。

表彰式は、愛知県農業協同組合中央会会長、豊年講総代の主催者挨拶、熱田神宮宮司の挨拶の後、第34回熱田神宮農業功労顕彰状を青山茂光氏(一宮市)、加藤健一氏(岡崎市)及び石川賢治氏(蒲郡市)の3名の方々に贈呈されました。

顕彰状贈呈後、平成27年度農林畜産物品評会の審査報告があり、農林水産大臣賞、熱田神宮宮司賞に入山正義氏(品目:だいこん、常滑市)及び杉山善一郎氏(品目:みかん、西尾市)、東海農政局長賞に鈴木喜一郎氏(品目:うるち米、豊田市)、愛知県知事賞に岡田吉司氏(品目:大豆、豊田市)、磯村暢浩氏(品目:キャベツ、西尾市)、牧野力男氏(品目:トマト、豊川市)、牧野好文氏(品目:ブロッコリー、田原市)、辻竹彦氏(品目:にんじん、碧南市)、渡会勝之氏(品目:菊、田原市)、愛知県議会議長賞は蟹江朋光氏(品目:みかん、東海市)、名古屋市長賞に寺野恭平氏(品目:ブロッコリー、港区)、丹羽新太郎氏(品目:蜂蜜、西区)、名古屋市会議長賞に近藤勝彦氏(品目:さといも、緑区)始め387名の皆さんが表彰を受けました。

なお、品評会には、種芸593点、園芸品1,554点、苗木花木158点、畜産林産農林畜産加工174点の合計2,479点の出品がありました。

◎ 平成27年度補正予算及び平成28年度予算を決定しました

政府は、12月18日に平成27年度一般会計補正予算(第1号)、23日に平成28年度一般会計歳入歳出概算を閣議決定しました。予算は1月4日開会予定の通常国会に提出されます。

詳しくは農林水産省のホームページをご覧ください。

(農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>)

◎ 今後の主な行事予定

- 1月15日 常任議員会議(三の丸庁舎)
- 1月28日 企業の農業参入に関する研修会(名古屋銀行協会)
- 2月1日 農業者年金業務担当研修会(JAあいちビル)
- 2月10日 愛知女性農業委員ネットワーク研修会(アイリス愛知)
- 2月15日 常任議員会議(三の丸庁舎)

農政の動きを知り経営に役立てる

全 国 農 業 新 聞

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が編集・発行している情報紙です

まとめて読める！週刊紙

- 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 地域の情報をカラーで生き活きと
- 農業・農村現場や農業者の思いを伝承
- 経営・流通に役立つ最新情報が満載
- 老若男女すべての方の元気を応援
- 文字が大きく読みやすい

発 行 日：毎週金曜日

購 読 料：月額700円、年8,400円(消費税込)

情報事業の推進には農業委員の皆様の協力が必要不可欠です
見本紙等をご希望の場合、お気軽にお問い合わせください

農業者、農業委員等のための

全 国 農 業 図 書

農地や農業経営、農政などに関する実務書や解説書、リーフレットをはじめ、農業を始めたい人、農業や食に興味を持つ人のための書籍などを取り揃えています

主な取扱い書籍・リーフレット・DVD

- 農業委員会の制度・運営関係
- 構造政策・農地流動化・経営基盤強化（法）関係
- 農地・農地法・農振法関係
- 農業法人関係
- 経営関係（青色申告、税、簿記、雇用、経営全般）
- 担い手育成関係（認定農業者、家族経営協定、新規就農、検定試験）
- 経営構造対策・地域活性化関係
- 農業者年金関係
- 農政関係・その他
- 食農教育関係
- 農業技術・病虫害・雑草・鳥獣害関係
- 全国農業新聞関係

お問い合わせ先 愛知県農業会議 TEL:052-962-2841 FAX:052-953-0399

発行所:全国農業会議所 〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8